

消毒用エタプロコール®

火気厳禁

第 4 類
アルコール類
水 溶 性
危 険 等 級 II



〈 調剤包装単位用 〉

01004987211250715



〈 販売包装単位用 〉

01014987211130715

開封日： 年 月 日

外用殺菌消毒剤
ETHAPROCOHOL® FOR DISINFECTION



飲用不可

エタノール76.9~81.4vol%含有

500mL

製造番号

使用期限

発売元

⑥ 丸石製薬株式会社

大阪市鶴見区今津中2-4-2

製造販売元

日興製薬株式会社

岐阜県羽島市江吉良町1593

目安として
ご使用
ください

400

300

200

100

消毒用エタプロコール®

2015年2月改訂(第2版)	
日本標準商品分類番号	872615
承認番号	21500AMZ00503
薬価収載	2004年7月
販売開始	2003年12月

貯 法：遮光した気密容器に入れ、火気を避けて保存。
使用期限：3年（表示の使用期限を参照すること。）
注 意：飲用不可

【禁忌(次の部位には使用しないこと)】

損傷皮膚及び粘膜【損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。】

【組成・性状】

- 組成
エタノール(C₂H₆O)76.9~81.4vol%
及び添加物としてイソプロパノール 含有。
- 性状
無色澄明の液で、特異なおいがある。
点火するとき、淡青色の炎をあげて燃える。
揮発性である。

【効能・効果】

手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、
医療機器の消毒

【用法・用量】

本品をそのまま消毒部位に塗布する。

【使用上の注意】

1.重要な基本的注意

- (1)本剤が眼に入らないように注意すること。
眼に入った場合は直ちによく水洗すること。
- (2)広範囲又は長期間使用の場合には、蒸気の吸入に注意すること。[エタノール及びイソプロパノール蒸気に大量に又は繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある。]

2.副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症 [※]	発疹等
皮膚 [※]	刺激症状

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3.臨床検査結果に及ぼす影響

注射部位に発赤を起こすことがあるので、アレルギーテストの判断を妨害することがある。

4.適用上の注意

投与経路:外用にのみ使用すること。

使用時:

- (1)同一部位(皮膚面)に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
- (2)血清、膿汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。
- (3)合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるため、このような器具は長時間浸漬しないこと。
- (4)本剤は引火性、爆発性があるため、火気(電気メス使用等も含む)には十分注意すること。また、電気メスによる発火事故が報告されているので、電気メス等を使用する場合には、本剤を乾燥させ、アルコール蒸気の拡散を確認してから使用すること。

5.その他の注意

経皮的エタノール注入療法(PEIT)には使用しないこと。

【薬効薬理】

本剤は、使用濃度において栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び一部のウイルスに対する効果は期待できない。

消毒用エタプロコール®

火気厳禁

アルコール類
水溶性
危険等級Ⅱ

JAN



4

GS1-RSS



＜販売包装単位用 JAN 130715＞

キャップ：PP
ボトル：PE
ラベル：PET

外用殺菌消毒剤 ETHAPROCOHOL® FOR DISINFECTION



飲用不可

エタノール76.9～81.4vol%含有

500mL

開封日： 年 月 日

製造番号

使用期限

発売元

⑥ 丸石製薬株式会社

大阪市鶴見区今津中2-4-2

製造販売元

日興製薬株式会社

岐阜県羽島市江吉良町1593

目安としてご使用
ください

400

300

200

100

消毒用エタプロコール®

2010年8月作成(第1版)	
日本標準商品分類番号	872615
承認番号	21500AMZ00503
薬価収載	2004年7月
販売開始	2003年12月

貯 法：遮光した気密容器に入れ、火気を避けて保存。
使用期限：3年（表示の使用期限を参照すること。）
注 意：飲用不可

【禁忌(次の部位には使用しないこと)】

損傷皮膚及び粘膜【損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。】

【組成・性状】

1.組成

エタノール(C₂H₆O)76.9～81.4vol%
及び添加物としてイソプロパノール 含有。

2.性状

無色澄明の液で、特異なおいがある。
点火するとき、淡青色の炎をあげて燃える。
揮発性である。

【効能・効果】

手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、
医療機器の消毒

【用法・用量】

本品をそのまま消毒部位に塗布する。

【使用上の注意】

1.重要な基本的注意

- (1)本剤が眼に入らないように注意すること。
眼に入った場合は直ちによく水洗すること。
- (2)広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。[エタノール及びイソプロパノール蒸気に大量に又は繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある。]

2.副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

頻度不明	
過敏症 [※]	発疹等
皮膚 [※]	刺激症状

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3.臨床検査結果に及ぼす影響

注射部位に発赤を起こすことがあるので、アレルギーテストの判断を妨害することがある。

4.適用上の注意

投与経路:外用にのみ使用すること。

使用時:

- (1)同一部位(皮膚面)に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
- (2)血清、膿汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。
- (3)合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテテル等には、変質するものがあるため、このような器具は長時間浸漬しないこと。
- (4)本剤は引火性、爆発性があるため、火気(電気メス使用等も含む)には十分注意すること。また、電気メスによる発火事故が報告されているので、電気メス等を使用する場合には、本剤を乾燥させ、アルコール蒸気の拡散を確認してから使用すること。

5.その他の注意

経皮的エタノール注入療法(PEIT)には使用しないこと。

【薬効薬理】

本剤は、使用濃度において栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び一部のウイルスに対する効果は期待できない。